

令和7年度
クリーニング師学科試験問題

指示があるまで開いてはいけません

試験時間 60分

受験番号		氏名	
------	--	----	--

衛生法規に関する知識

問1 クリーニング業法第2条の条文について、()に入る語句を以下の語群から選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

この法律で「クリーニング業」とは、(ア)又は洗剤を使用して、衣類その他の繊維製品又は皮革製品を原型のまま洗たくすること（繊維製品を使用させるために貸与し、その使用済み後はこれを回収して洗たくし、さらにこれを貸与することを繰り返して行なうことを含む。）を営業とすることをいう。

この法律で「クリーニング師」とは、第6条に規定する(イ)を受けた者をいう。

この法律でクリーニング所とは、洗たく物の(ウ)又は受取及び引渡しのための営業者の施設をいう。

1. 薬剤	2. 漂白剤	3. 溶剤
4. 免許	5. 許可	6. 登録
7. 管理	8. 処理	9. 分別

問2 クリーニング業法第3条の2の条文について、()に入る語句の組み合わせとして、正しいものを1つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

営業者は、洗濯物の受取及び引渡しをしようとするときは、あらかじめ、(ア)に対し、(イ)等について説明するよう努めなければならない。

営業者は、洗濯物の受取及び引渡しをするに際しては、厚生労働省令で定めるところにより、(ア)に対し、(ウ)を明示しなければならない。

	ア	イ	ウ
1	消費者	衛生管理方法	営業者名及び連絡先
2	利用者	洗濯物の処理方法	苦情の申出先
3	利用者	衛生管理方法	苦情の申出先
4	消費者	洗濯物の処理方法	営業者名及び連絡先

問3 クリーニング業法施行規則第1条に規定する消毒を要する洗たく物として、誤っているものを1つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。ただし、洗たく物は伝染性の疾病にかかっておらず、かつ伝染性の疾病にかかっている者との接触もない者が使用したもので、いずれも営業者に引き渡される前に消毒されていないものとする。

- 1 家庭で子どもが使用した布おむつ
- 2 ホテルで宿泊客が使用した寝具
- 3 飲食店で従業員が使用したタオル

問4 クリーニング業法第5条に規定するクリーニング所の開設の届出に関する以下の記述について、() に入る語句として正しいものを以下の語群から選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

クリーニング所を開設しようとする者は、厚生労働省令の定めるところにより、クリーニング所の位置、(ア) 及び(イ) 並びにクリーニング師の氏名その他必要な事項をあらかじめ都道府県知事に届け出なければならない。

また、届け出た事項に変更を生じたとき、又はクリーニング所の営業を廃止したときは、営業者は厚生労働省令の定めるところにより(ウ) 都道府県知事に届け出なければならない。

1. 構造設備	2. 使用機器	3. 使用溶剤
4. 営業区域	5. 従事者数	6. 作業者数
7. 1年以内に	8. 速やかに	9. 直ちに

問5 クリーニング師試験に関する以下の記述について、正しいものを1つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- 1 クリーニング師の免許は、厚生労働大臣がクリーニング師試験に合格した者に与える。
- 2 都道府県知事は、少なくとも2年に1回以上クリーニング師試験を行わなければならない。
- 3 クリーニング師試験を受けることができる者は、学校教育法第57条に規定する者である。

問6 クリーニング師の研修及び業務従事者に対する講習に関する以下の記述について、正しいものには○を、誤っているものには×を、解答欄に記入しなさい。

- 1 クリーニング師の研修及び業務従事者に対する講習は、都道府県知事が厚生労働大臣の定める基準に従って指定するものである。
- 2 クリーニング所の業務に従事しないクリーニング師であっても、必ず一度はクリーニング師の研修を受けなければならない。
- 3 営業者は、業務従事者に対し、当該知識の習得及び技能の向上を図るための講習を受ける機会を与えるよう努めなければならない。
- 4 クリーニング所の業務に従事するクリーニング師は、業務に従事した後1年以内にクリーニング師の研修を受け、その後は5年を超えない期間毎に研修を受ける必要がある。

問7 標準営業約款制度（Sマーク制度）に関する以下の記述について、誤っているものを1つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- 1 標準営業約款制度（Sマーク制度）は、生活衛生関係営業の運営の適正化及び振興に関する法律に基づく、消費者保護のための制度である。
- 2 SマークのSは、Standard（安心）、Sanitation（清潔）、Skill（技能）の頭文字をとったものである。
- 3 標準営業約款は、現在、クリーニング業を含む5業種に設定されている。

問8 「クリーニング所における衛生管理要領」に示されているクリーニング師の役割に関する以下の記述について、正しいものには○を、誤っているものには×を、解答欄に記入しなさい。

- 1 クリーニング師は、施設、設備等の衛生管理、有機溶剤の適正な使用管理等について、当該クリーニング所の他の従業者に指導的立場から関与することが求められる。
- 2 クリーニング師は、利用者利益の擁護を図るため、クリーニング事故の発生防止に努める必要があるが、万が一事故が生じた際の対応責任者は営業者である。
- 3 クリーニング師は、感染症や災害が発生した場合の事業継続計画（BCP）の策定に関与する必要はない。
- 4 クリーニング師は、当該クリーニング所における近隣環境への安全配慮や環境保全対策等の取組を推進する必要がある。

公衆衛生に関する知識

問1 以下の記述について、正しいものを1つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- 1 クリーニング業は、特定の者が利用する業態の営業であるため、従業者及び利用者の公衆衛生の観点から、感染症等の拡大を予防するために十分な対策が必要である。
- 2 公衆衛生学者ウインスローは、公衆衛生を「共同社会の組織的な努力を通じて、疾病を予防し、寿命を延長し、肉体的、精神的健康の能率の増進をはかる科学であり、技術である。」と定義している。
- 3 日本国憲法第25条では、「すべて国民は、健康で文化的な最低限度の生活を営む義務を有する。」と規定されている。
- 4 クリーニング業法施行規則では、「クリーニング師は、衛生法規に関する知識、公衆衛生に関する知識並びに洗濯物の処理に関する専門知識及び技能等を有する者であり、当該クリーニング所の衛生管理を行う上での実質的な責任者」と規定されている。

問2 環境保護に関する以下の記述について、正しいものを1つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- 1 プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律に基づき、プラスチックごみの削減や資源循環に向けて、「3R (Reduce、Reuse、Recycle) + Recovery」の取り組みが求められている。
- 2 プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律施行令に定める「特定プラスチック使用製品」は12製品指定されており、クリーニング業における対象製品は、衣類用ハンガーのみである。
- 3 SDGs (Sustainable Development Goals: 持続可能な開発目標) とは、2015年に開催された国連の「持続可能な開発サミット」で採択された取り組みで、2040年までに達成すべき17の目標と169のターゲットから構成されている。
- 4 SDGsには、目標未達による罰則はない。

問3 厚生労働省が実施している人口統計調査の集計結果のうち、令和6年人口動態統計（確定数）に関する以下の記述について、正しいものには○を、誤っているものには×を、解答欄に記入しなさい。

- 1 出生数は人口動態調査開始以来最少となった。
- 2 死亡数は前年よりわずかに減少した。
- 3 死因順位の第1位は男性が悪性新生物、女性が老衰であった。
- 4 婚姻件数、離婚件数とも前年より増加した。

問4 労働安全衛生に関する以下の記述について、誤っているものを1つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- 1 ドライクリーニングで使用する石油系溶剤は、有機溶剤中毒予防規則において、第2種有機溶剤等に該当する。
- 2 労働安全衛生法には、労働災害防止のための「危害防止基準の確立」、「責任体制の明確化」、「自主的活動の促進」などの措置により働く人々が安全で健康に働ける仕組みが定められている。
- 3 労働安全衛生規則の改正により、令和6年4月1日からリスクアセスメント対象物の製造、取扱い、譲渡、提供のいずれかを行う場合、業種や規模に関わらず、事業場ごとに、化学物質管理者を選任することが義務付けられたが、リスクアセスメント対象物は、クリーニング所で取り扱っている洗剤や薬剤にも含まれる可能性がある。
- 4 テトラクロロエチレンを使用したドライクリーニング機を取り扱う作業に常時従事する者に対しては、事業者は一般的な健康診断に加え、雇入れなどの際と、6か月以内ごとに1回、代謝物の検査など、特別な項目についての健康診断を行わなければならない。

問5 セレウス菌に関する以下の記述について、正しいものには○を、誤っているものには×を、解答欄に記入しなさい。

- 1 食中毒の原因菌となることがある。
- 2 セレウス菌が形成する芽胞は、熱に抵抗性がある。
- 3 セレウス菌による、病院リネンを介した院内感染事例が報告されている。
- 4 自然環境中に広く存在しているが、土壌にはほとんど存在しない。

問6 感染症に関する以下の記述について、()に入る語句として正しいものを以下の語群から選び、その記号を解答欄に記入しなさい。

感染症は、「病原体（感染源）」、「感染経路」、「(1)」の3つの要因が揃うことで感染する。

感染経路は大きく分けて、「(2)感染（母子感染）」と「(3)感染」の2種類があり、「(3)感染」は人などの感染源から広がるもので、「(4)感染」、「飛沫感染」、「空気感染」、「媒介物感染」の4つに大きく分類できる。

また、感染制御の基本は、病原体を「持ち込まない」、「持ち出さない」、「(5)」ことである。

ア. 増やさない	イ. 垂直	ウ. 接触	エ. 平行
オ. ウイルス	カ. 貯めこまない	キ. 水平	ク. 死滅させる
ケ. 広げない	コ. 濃厚	サ. 細菌	シ. 宿主

問7 熱中症に関する以下の記述について、誤っているものを1つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- 1 クリーニング業の作業現場は熱や蒸気による暑熱環境にあり、特に夏場は熱中症が発生する危険が高く、対策が必要とされている。
- 2 令和7年6月1日に施行された改正労働安全衛生規則により、労働者の熱中症重篤化を防止するための「体制整備」、「手順作成」、「関係者への周知」が、事業者の努力義務となった。
- 3 職場における熱中症による全国の死亡者数は、令和4年から3年連続で30人以上である。
- 4 熱中症予防のためには、のどが渇く前からこまめに水分補給することが重要である。

問8 「クリーニング所における衛生管理要領」に示されている、指定洗濯物の塩素剤による一般的な消毒方法に関する以下の記述について、()に入る数値の組み合わせとして、正しいものを1つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

亜塩素酸水を使用する場合は、その遊離塩素濃度(ア)ppm以上の水溶液中に(イ)度以上で(ウ)分間以上浸すこと又はその遊離塩素濃度(エ)ppm以上の水溶液中に(オ)度以上で(カ)分間以上浸すこと。

	ア	イ	ウ	エ	オ	カ
1	250	15	10	250	30	5
2	150	60	10	250	50	10
3	25	60	10	50	30	5
4	25	20	10	50	10	10

洗濯物の処理に関する知識

問1 ランドリーに関する以下の記述について、()の中から適切な語句を選び、その記号を解答欄に記入しなさい。

- 1 ランドリーのすすぎ温度は、初回は洗濯温度より10度以上下げず、2回目以降は(ア. 常温 イ. 高温)でよい。
- 2 ランドリー用水の条件として、液性が(ア. 酸性 イ. 中性)であること、無色透明、無味無臭があげられる。
- 3 糊付けに使用する糊剤には、でんぷん糊(コーンスターチ、小麦でんぷん)、CMC(カルボキシメチルセルロース)、ポリ酢酸ビニル、(ア. PVA(ポリビニルアルコール) イ. フッ化水素)などがある。
- 4 ランドリーを行う場合の衣料品の仕分けについて、はじめにワイシャツ、シーツなど品目別に分け、次に白物と色物を分けるが、白物でも綿100%とポリエステル混紡品は分ける(ア. 必要がある イ. 必要がない)。
- 5 染色物を洗濯する際の洗剤は、(ア. 無蛍光の中性洗剤 イ. 蛍光入りのアルカリ洗剤)を用いるとよい。

問2 ドライクリーニングに関する以下の記述について、()の中から適切な語句を選び、その記号を解答欄に記入しなさい。

- 1 ドライクリーニングのチャージシステムでは、ソープ濃度を(ア. 5~10% イ. 0.5~1%)に調整するのが一般的である。
- 2 ドライクリーニング溶剤は、蒸気圧が(ア. 小さい イ. 大きい)ほど、低温で蒸発乾燥できる
- 3 洗濯物に石油系溶剤が残留した場合、化学やけど(皮膚障害)が発生するが、その直接の原因は(ア. 乾燥不十分 イ. 前処理不十分)である。
- 4 カーペットをドライクリーニングする場合、裏ゴム張りが(ア. 施されている イ. 施されていない)ことが条件のひとつである。

問3 以下の記述について、正しいものには○を、誤っているものには×を、解答欄に記入しなさい。

- 1 アニオン系とノニオン系の界面活性剤を併用すると、イオン結合により本来の効能が相殺されることがある。
- 2 しみ抜きは、油性処理、水溶性処理、酵素処理、酸化漂白処理、還元漂白処理の順に処理を進めるとよい。
- 3 水溶性のしみは、霧吹きで水をかけると生地よりもしみの方が水分を早く吸収することで見分けることができる。
- 4 合成繊維のモダクリルは、アクリルニトリル成分がアクリルより少ない重量比の35～85%で塩化ビニルと結合しており、熱、蒸気に強く、しみ抜き溶剤に溶けにくい。
- 5 毛皮を保管する場合、温度は10～15度、湿度は60～70%が最適な条件である。
- 6 「洗濯堅ろう度」とは、染色された生地を洗濯することで生じる色の変化の程度（変退色）と他の洗濯物への色移りの程度（汚染）の程度を示す指標である。
- 7 「ウエットクリーニング」とは洗剤及び（又は）水洗いによる影響を最小限度に抑えるために、水洗い・すすぎ及び遠心脱水時に添加剤などを使用する場合もある特殊な技術を用いた業者による繊維製品の水洗い処理のことである。

問4 以下の繊維製品の取扱いに関する表示記号に関する説明について、（ ）内のア・イから適切な語句を選び、その記号を解答欄に記入しなさい。

A		<ul style="list-style-type: none"> ・ 底面温度①（ア. 120度 イ. 160度）を限度としてスチームなしでアイロン仕上げ処理。 ・ スチームアイロンは不可逆的な損傷を引き起こす可能性が②（ア. ない イ. ある）。
B		<ul style="list-style-type: none"> ・ 液温は、①（ア. 30度 イ. 40度）を限度とし、②（ア. 手洗い イ. 洗濯機）による洗濯処理。
C		<ul style="list-style-type: none"> ・ 石油系溶剤又は①（ア. ジブトキシメタン イ. デカメチルペンタシクロシロキサン）によるドライクリーニング処理ができる。 ・ ②（ア. 強い イ. 弱い）処理。

D		<ul style="list-style-type: none"> ・ ① (ア. ドライクリーニング イ. ウェットクリーニング) 処理。 ・ ② (ア. 弱い イ. 非常に弱い) 処理。
E		<ul style="list-style-type: none"> ・ 洗濯処理後の① (ア. タンブル乾燥 イ. 乾燥) 処理。 ・ 高温乾燥：排気温度の上限は、最高② (ア. 60度 イ. 80度)。

令和7年度クリーニング師試験問題解答

受験番号		氏名	
------	--	----	--

1. 衛生法規に関する知識 (配点: 100点)

問 1			問 2	問 3	問 4			問 5
ア	イ	ウ	2	2	ア	イ	ウ	3
3	4	8			1	5	8	
(5点×3問)			(10点)	(5点)	(5点×3問)			(10点)

問 6				問 7	問 8			
1	2	3	4	2	1	2	3	4
○	×	×	×		○	×	×	○
(5点×4問)				(5点)	(5点×4問)			

得点	/ 100
----	-------

2. 公衆衛生に関する知識 (配点: 100点)

問 1	問 2	問 3				問 4
2	4	1	2	3	4	1
		○	×	×	○	
(10点)	(10点)	(5点×4問)				(10点)

問 5				問 6				
1	2	3	4	1	2	3	4	5
○	○	○	×	シ	イ	キ	ウ	ケ
(5点×4問)				(2点×5問)				

問 7	問 8
2	4
(10点)	(10点)

得点	/ 100
----	-------

3. 洗たく物の処理に関する知識 (配点: 100点)

問 1					問 2			
1	2	3	4	5	1	2	3	4
ア	イ	ア	ア	ア	イ	イ	ア	イ
(5点×5問)					(5点×4問)			

問 3						
1	2	3	4	5	6	7
×	○	○	×	×	○	○
(5点×7問)						

問 4									
A		B		C		D		E	
①	②	①	②	①	②	①	②	①	②
ア	イ	ア	ア	イ	イ	イ	イ	ア	イ
(2点×10問)									

得点	/ 100
----	-------

総得点	/ 300
-----	-------